

浜松

無事ついた。

組み込みシステム開発の次の10年を考える

高田先生の基調講演。

「いつかくることを、今やる。」あれ、なんか語感が違うぞ？

- ・ 日本：擦り合わせ型が得意
 - ・ 機能要素と構造要素が多対多
- ・ ソフトウェア技術の特性
 - ・ モジュールプログラミング：組み合わせ型にしよう
- ・ 組み込みソフトウェアは非機能要求も
 - ・ すりあわせ型で解決するしかないのでは？
- ・ 日本のものづくりはなぜ品質が高いか
 - ・ 質は高いようだ
 - ・ 開発プロセス / 管理がすばらしい... とはいえなそう
 - ・ 教育レベルが高い... とはいえなそう
 - ・ モラルに支えられているのでは？
- ・ 技術者の品質意識 / 士気
 - ・ 研究者 / 設計者でも現場までフォローさせられる => 引き締まる
 - ・ 専属スタッフではない / 擦り合わせ型の開発体制
 - ・ 単一民族・島国だから、阿吽の呼吸
 - ・ 仕事の部署の線引きをはっきりとしない
- ・ 部分から全体
 - ・ 日本かの芸術は部分から全体へ（鈴木敏夫著：映画道楽）
 - ・ できたものは建て増し構造
 - ・ チーム開発向きではない
- ・ 過剰な擦り合わせ
 - ・ 過剰品質・高コスト

発表メモ

- ・ プロモーション用のプロジェクトが必要では？
- ・ 名古屋大学 本田先生の協調シミュレータ
 - ・ windows.com
- ・ 医療用機器
 - ・ なかなか世代交代しない。コストが事前に評価できるなら嬉しい
- ・ 速度を犠牲にしても速いシミュレータ
 - ・ 似たような箇所から類推